

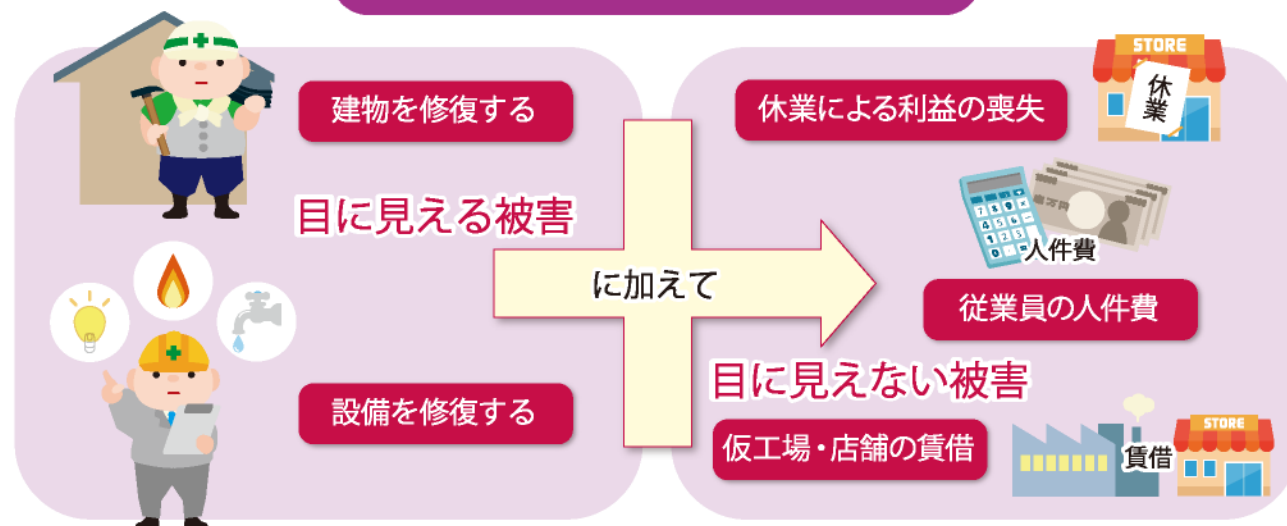
去年も今年も

自然災害が猛威をふるっている。

明日は我が身かもしれない。



災害で被害を受けると…



建物や設備を修復する費用に加え、休業でさらなる損失がでる可能性があります。

事業中断への備えはしていますか？

／ 保険会社もさまざまなサービスを展開 ／

あいおいニッセイ同和損保 「cmap.dev (シーマップ)」



気象・災害に関する産学共同研究により開発された自然災害発生時の被災建物予測をリアルタイムに公開。
被災規模の早期把握や迅速な救助支援活動への貢献を目指しています。

元気の Best Advice

ニュースで頻繁に報じられている通り、100年に1度の災害といわれる被害が毎年起きているというのが現実です。今年も、台風15号、19号と日本列島に大きな爪痕を残しました。

今年に限らず、自然災害の多発による甚大な被害によって、想定を上回る保険金支払いが発生しており、既に保険料の値上げも繰り返されています。大規模かつ頻発するようになった自然災害に対し、現在の備えに不安を感じている企業様はもちろんのこと、既に備えていらっしゃる企業様におかれましても、今一度様々なリスクに耐えうる備えとなっているかを考え直されるタイミングだと思います。

リスクマネジメントでは、リスク診断から1企業1企業に必要な保険のご提案をさせていただきます。



被害状況も 桁外れに多くなっている

『天災は忘れた頃にやってくる。』
という言葉はもう死語になりつつあり、
『天災は常にやってくる』時代だ。
小泉環境大臣
発生たびに100年に1度の規模だといわれるが、今後は毎年起きると思っ
て対策を進める必要がある。

赤羽国土交通大臣



「地震」

■2018年 大阪府北部地震
建物被害合計 約2万7千棟
■2018年 北海道胆振東部地震
建物被害合計 約1万7千棟



「台風」

■2018年 台風21号
建物被害合計 約5万棟
■2019年 台風15号
建物被害合計 4万2千棟以上
■2019年 台風19号
建物被害 多数



「豪雨」

■2018年7月
建物被害合計 約5万棟
■2019年6月
建物被害合計 九州豪雨
約500棟
■2019年8月
建物被害合計 九州豪雨
4千棟以上

※建物被害参考：内閣府